



急に寒さが厳しく感じられるようになってきました。数週間前まで日差しの暑さを感じていたものが、秋を通り越してもう、冬か・・・という感じです。急な寒さに体も慣れていないため、風邪には十分お気を付けください。しばらくコロナの拡散が収まっている状態が続き、うれしいかぎりです。ずっとこのまま収束していつくれたらと願います。しかし、日本より一足先に沈静化していた諸外国では、規制緩和を大幅に進める中、再び拡散し始めているところも少なくありません。油断せず、マスク着用等、コロナ対策を心掛けていただきますよう、よろしくお願いいたします。

## やりきったぞ！運動会



コロナ感染症が心配されましたが、10月2日（土）は好天に恵まれ、子どもたちは元気いっぱい日ごろの練習の成果を発揮することができました。息を合わせて走れた3・4年生の「ひがさん旋風」。バケツのラッキーゾーンを狙うのも作戦、1・2年生の玉入れ「かごいっぱいになあれ」。逃げる人、入れる人たくさん走った5・6年生の「想い球」。徒競走やリレーでは、1年生から6年生までみんな最後まであきらめずに走れました。

そして、一生懸命練習してきた団体演技。3・4年生の「RGB」、三原色のバンダナがかっこよく、今風のおしゃれな振り付けが際立ちました。1・2年生の「ウルトラマリンブルー」、手や足の動きが素早く、難しい振り付けをかっこよく決めていました。5・6年生の「いま伝えたい想い」黒い服でそろえて、大きな動きで迫力がありました。各グループの最後のきめもカッコよかったです。実は、今年は団体演技は全部「YOASOBI」の曲でした。順に「三原色(RGB)」「群青」「夜を駆ける」でした。皆さんご存知でしたか？本年度もコロナ下での運動会となりましたが、それぞれ工夫を凝らし、すばらしい運動会となったことをうれしく思います。また、保護者の皆様には今年もコロナ対策をはじめ、真摯にご協力いただき、本当にありがとうございました。皆様のご協力あってこそその成功であったと思います。

## 楽しかった加太合宿



10月21日（木）と22日（金）に加太合宿に行ってきました。コロナ感染症の影響も心配されましたが、比較的いい時期に行けたと思います。前回から加太少年自然の家ではなく、和歌山市青少年国際交流センターとして生まれ変わった施設を利用させてもらっています。とてもきれいになりました。1日目はフォトフレームづくりをしました。カラフルな写真立てが出来上がっていました。次に家族広場でお弁当を食べました。そしていよいよ飯盒炊爨です。みんな結構上手においしいカレーが作れました。大変なのは後片付けです。焦げたなべなどを一生懸命こすって元通り、いやもと以上にきれいにしないと合格が出ません。必死にこすって合格が出た時にはガッツポーズも飛び出していました。夜はキャンプファイヤー、レクリエーションで盛り上がりました。たくさんの先生方も応援に来てくださり一緒に参加しました。2日目はスコアOL、協力して問題を解きました。最後はキーホルダー作り、木製の自然が感じられるキーホルダーを作りました。小学校では、初めての宿泊体験となります。自然に囲まれ、共同生活を営む中で、子どもたちはたくさんのことを学んだことと思います。

(校長 山下真二)

